

# 編集方針

本報告書は、日東電工グループにおける環境保全活動と社会的取り組みを知っていただくために発行しています。本報告書では詳しく掲載していない、国内における当社事業所の活動等については、ホームページ上で公開する予定にしています(2004年9月予定)。

昨年の「環境報告書2003」までは環境保全活動のみを報告してきましたが、今回から社会的取り組みの一部を掲載しています。なお、タイトルも「環境・社会報告書」に変更し、2008年度までに計画的に内容を充実させていきます。

昨年の「環境報告書2003」に掲載した「海外グループ会社の特集」については継続し、本報告書では日東ヨーロッパの取り組みを紹介しています(P.11参照)。

報告項目の選択にあたっては、環境省の「環境報告書ガイドライン(2000年度版/2003年度版)」およびGRI(Global Reporting Initiative)の「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」を参考にしました。

# 報告範囲

本来ならば、すべての項目について日東電工グループとしての報告にすべきですが、情報収集・編集体制を整える過程にあるため、報告書の対象範囲は下記のとおりになっています。

## データ集計範囲

- 【財務データ】 日東電工グループ(連結)
- 【環境データ】 日東電工(単体\*)
- 【環境会計】 日東電工(単体\*)  
日東電工国内製造グループ会社5社  
日東電工海外製造グループ会社7社
- 【労働災害データ】 日東電工(単体\*)

\*単体: 国内製造事業所6拠点  
東北事業所/関東事業所/豊橋事業所/亀山事業所/  
滋賀事業所/尾道事業所

## 対象期間

2003年4月~2004年3月

## 次回発行日

2005年6月予定

# 目次

会社の概要	2
編集方針・報告範囲・目次	4
「私たちの責任」~経営者緒言に代えて	5
Close up I 製品と技術	7
Close up II 海外での取り組み	11
Close up III 当社での取り組み	13

## 日東電工の環境報告

環境基本方針	15
環境マネジメント	16
事業活動のマテリアルフロー	18
環境会計	19
環境ボランティアプランの達成状況	21
環境ボランティアプラン1 産業廃棄物を減らすために	22
環境ボランティアプラン2 地球温暖化を防ぐために	23
環境ボランティアプラン3 大気汚染を防ぐために	24
その他の環境パフォーマンスデータ	25
化学物質の管理	26
製品の環境配慮	27
資材の調達	28
2003年度の環境コミュニケーション活動	29

## 日東電工の社会的取り組み

コンプライアンス方針	30
安心して働ける職場であり続けるために (労働安全衛生)	32
人と社会に対してフェアであり続けるために (人権および雇用)	34
メーカーとしてお客様に対する責任を果たすために (消費者保護および製品安全)	36
地域社会との関係	37
環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」との対照表	38

将来に関する予測・予想・計画について

本報告書には、「日東電工株式会社とその関係会社」(日東電工グループ)の過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これら予測・予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、これらには不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本冊子に記載した予測・予想・計画とは異なったものとなるおそれがあります。当社グループは、このような事態への責任を負いません。読者の皆様には、以上をご承知いただくようお願い申し上げます。